

高岡大仏エリア



20 高岡大仏

設置場所 大手町

設置年度 初代は延享2年(1745)、2度の焼失を経て、現在のものは昭和8年完成。

奈良、鎌倉と並ぶ日本三大仏のひとつ。鑄造から仕上げまで高岡職人の手による高岡銅器の代表作。昭和56年に坐像の大修理、平成19年に「平成の大修理」を行った。市指定文化財。



時鐘(大仏前公園内)

江戸時代、文化3年(1806)に町民に時を知らせるためにつくられた。市指定文化財。

金屋町エリア

鳳凰像

作者 富永 直樹

設置場所 鳳鳴橋(金屋町)

設置年度 昭和59年

(彫刻のあるまちづくり事業)

高岡鑄物発祥の地・金屋町にかかる鳳鳴橋に鳳凰像(2体)を設置。鳳凰は、高岡の地名の出典である詩経の一説「鳳凰鳴矣干彼高岡」に由来。

21



22

永遠の絆



作者 西条小学校児童

設置場所 金屋緑地公園(金屋町)

設置年度 平成6年

当時の6年生が、学校生活の思い出を表現した作品。